

## 1－2 北海道地方とその周辺の最近の地震活動（1997年5月～1997年10月）

### Recent Seismic Activity in and around the Hokkaido District (May,1997-October,1997)

札幌管区気象台

Sapporo District Meteorological Observatory, JMA

1997年5月～7月、1997年8月～10月の各3ヶ月間の震央分布図を第1図(a)と(b)に示す。これらの期間、北海道とその周辺の地震活動は6月に北海道北部で深発地震及び7月に太平洋側でM5以上の地震が発生したが地震活動は比較的静穏で、特に8月から9月にかけては目立った地震活動はなかった。しかし、10月になって釧路沖でM5以上の地震が続けて発生するなど地震活動がやや活発化した。以下、主な地震活動について順を追って挙げる。6月5日、留萌支庁中北部でM5.2の深発地震（深さ302km）が発生した。この地震は太平洋プレートの沈み込み部分で発生したものである。6月17日、内浦湾でM3.5と3.4の地震が続けて発生し、その後も規模の小さい地震が狭い範囲にまとまって発生した。この地震活動は7月末にはほぼ終息したが、渡島半島付近では1995年10月から始まった「松前沖」の群発地震や「南茅部付近」でまとまった地震活動があり、「松前沖」は活動のピークが過ぎたが、南茅部付近ではやや活発な状態が継続している（第2図参照）<sup>1)</sup>。7月15日、「平成6年北海道東方沖地震」の余震域の南西端でこの期間の最大規模であるM5.9の地震が発生したが、余震活動に大きな変化はみられない（第3図参照）。10月9日、釧路沖の千島海溝寄りの海域でM5.6の地震が発生した。この付近は「1952年3月4日の十勝沖地震（M8.2）」の余震域のほぼ中心にあたり、その後12日までにM5以上ものが3回発生した（本巻別項「釧路沖の地震活動」参照）。10月10日、「平成5年北海道南西沖地震」の余震域の南西端でM5.1の地震が発生し、奥尻町で震度3を観測した（第4図参照）。「北海道南西沖地震」のM5以上の余震は1993年9月25日のM5.0以来である。また、余震活動により震度3を観測したのは1994年12月31日以来である。細かく見ると今回発生した所は余震の発生が少ないことから今後の地震活動が注目される。

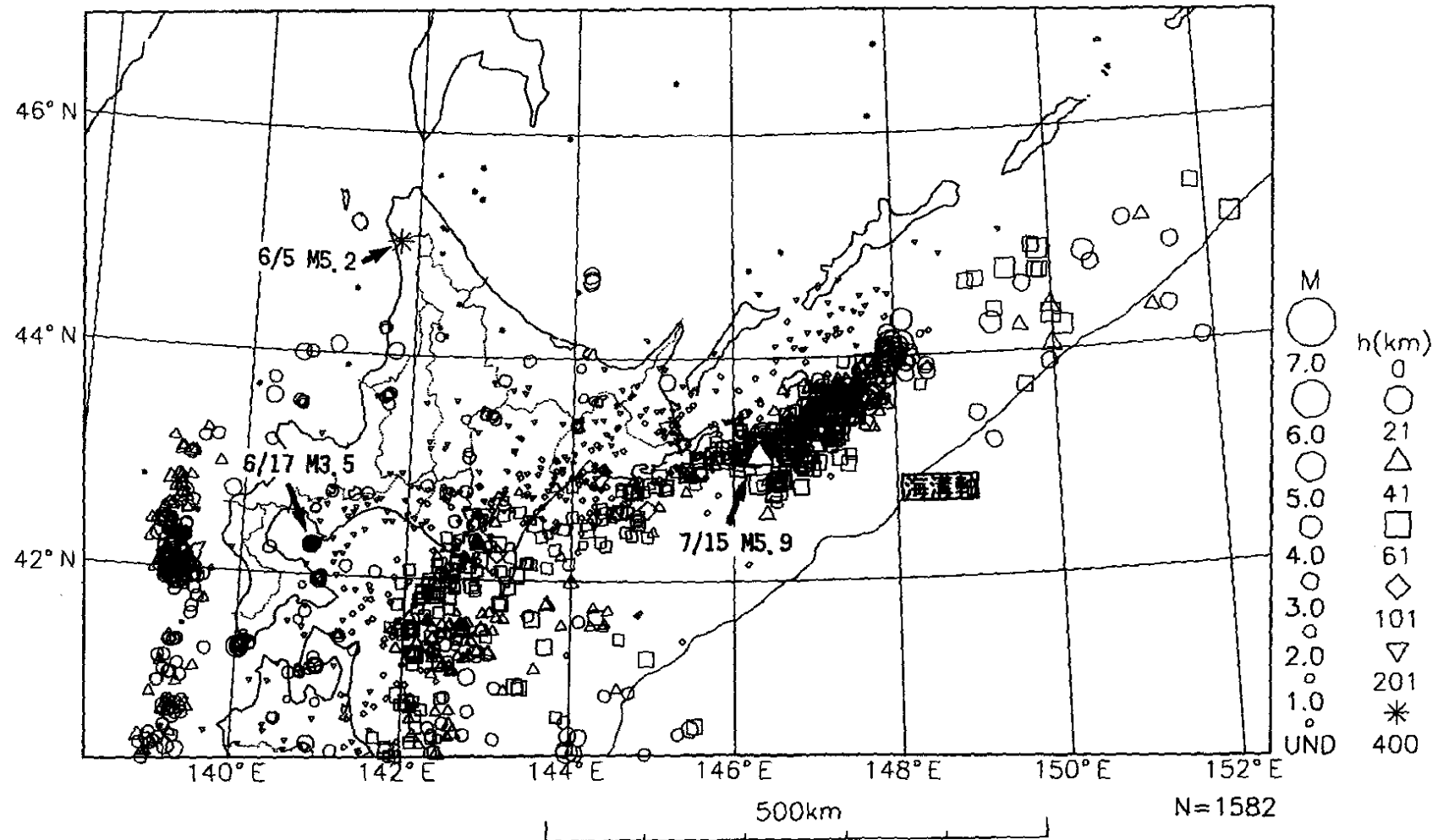
10月22日、国後島付近でM5.7のやや深発地震（深さ158km）が発生したが余震は発生していない。

一方、内陸では10月25日、上川支庁南部の富良野付近でM3.5の地震が発生し地震活動が活発になった（第5図参照）。

#### 参 考 文 献

- 1) 札幌管区気象台:北海道南西部の地震活動（1996年5月～1996年10月）、連絡会報、57（1997）、5-8.

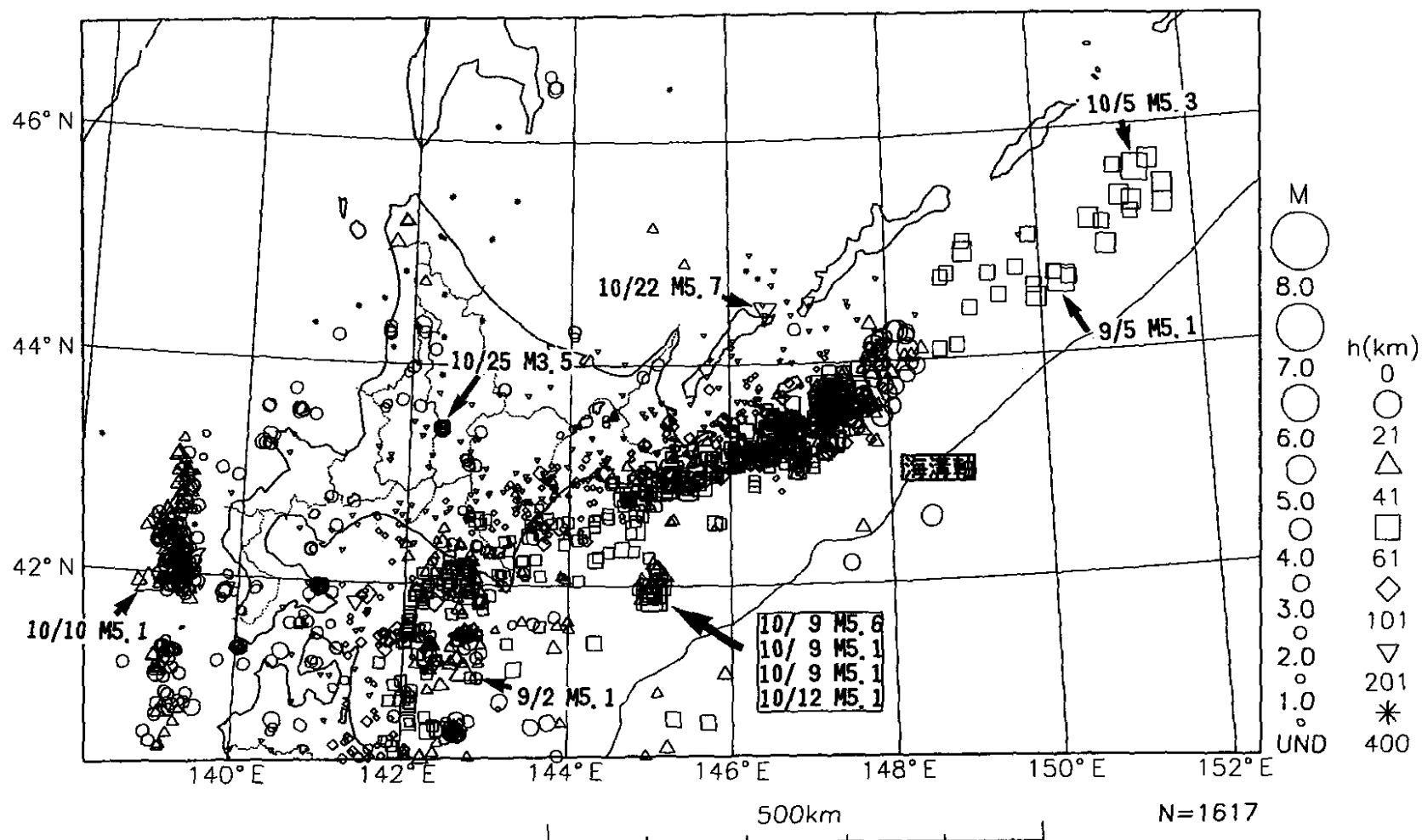
北海道地方とその周辺の地震活動 (1997年5月1日~7月31日  $h \leq 400 \text{ km}$ )



第1図 北海道周辺の地震の震央分布 : (a) 1997年5月~年7月 ( $h \leq 400 \text{ km}$ )

Fig.1 Epicentral distribution of earthquakes in and around the Hokkaido District : (a) May-July, 1997 ( $h \leq 400 \text{ km}$ ).

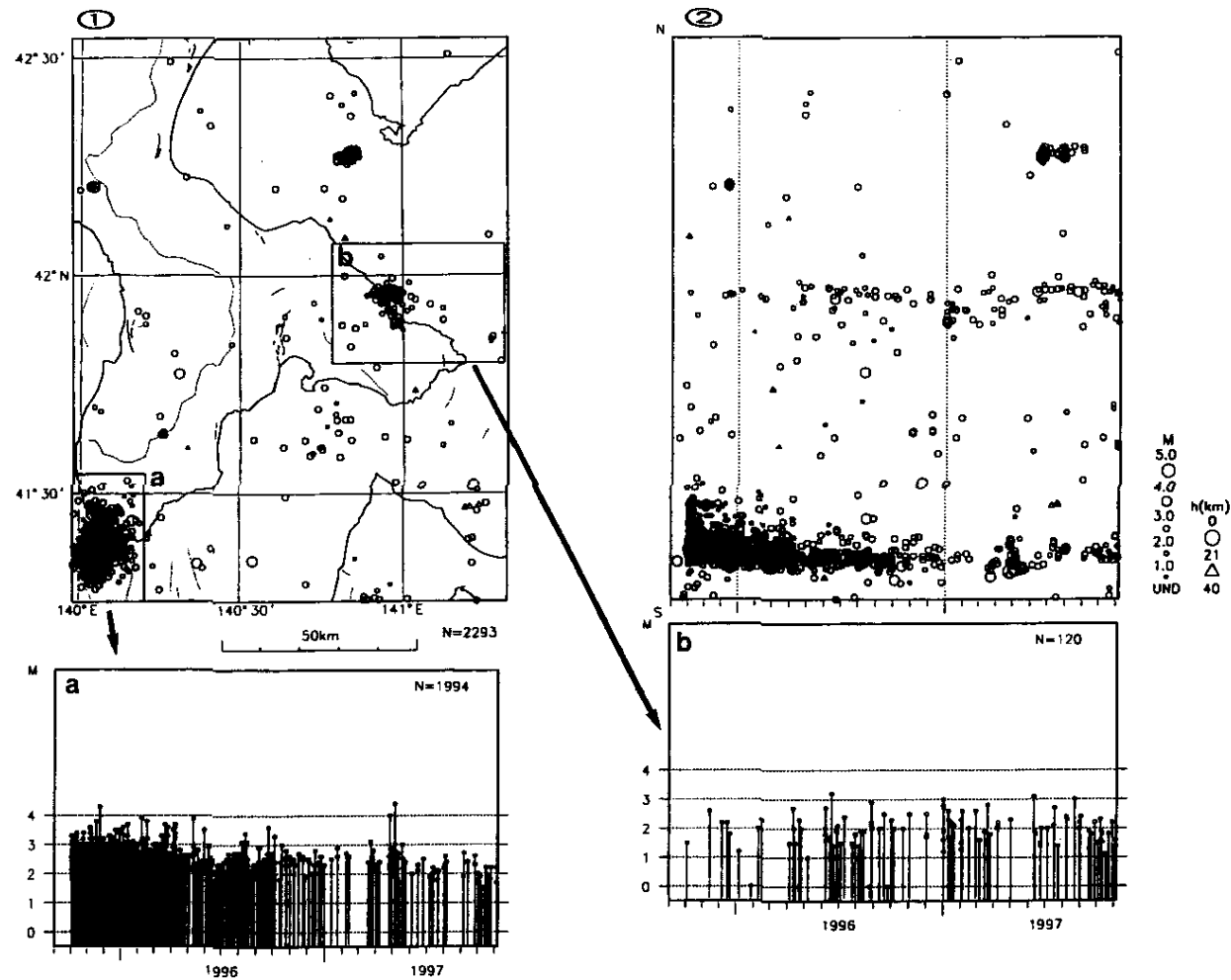
北海道地方とその周辺の地震活動 (1997年8月1日~11月6日  $h \leq 400$  km)



第1図 つづき : (b) 1997年8月~11月6日 ( $h \leq 400$  km)

Fig.1 (Continued) : (b) August-November 6, 1997 ( $h \leq 400$  km).

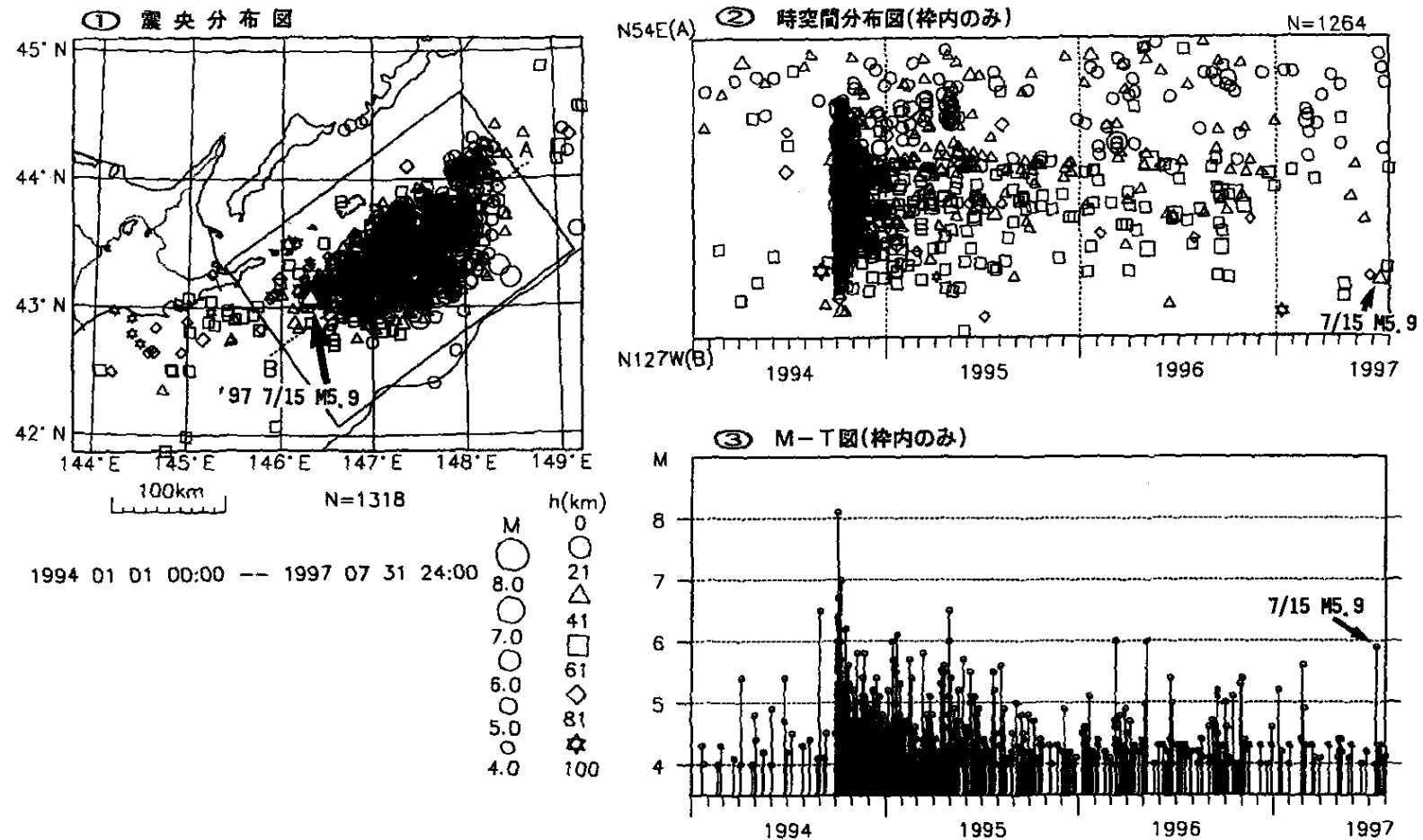
渡島半島付近の地震活動 (1995年9月~1997年11月6日  $h \leq 40 \text{ km}$ )



第2図 渡島半島付近の地震活動 (1995年9月~1997年11月6日  $h \leq 40 \text{ km}$ ) : ①震央分布図 ②時空間分布図 M-T図 (領域 a, b)

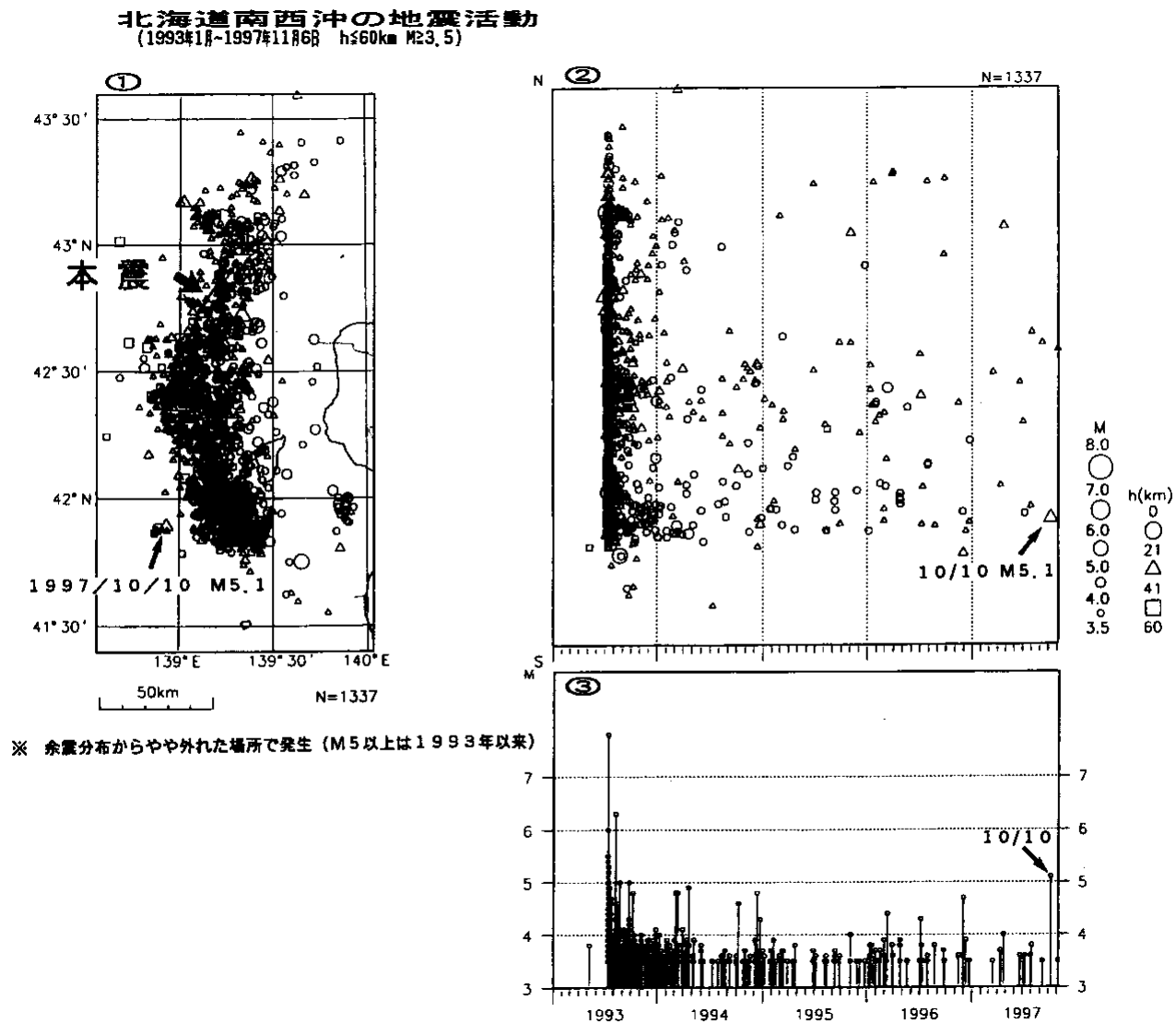
Fig.2 Seismic Activity near Oshima Peninsula (September, 1995-November 6, 1997  $h \leq 40 \text{ km}$ ) : ①epicentral distribution and magnitude-time diagram(region a), ② space-time plots and magnitude-time diagram (region b).

平成6年北海道東方沖地震の余震活動  
(1994年1月~1997年7月  $M \geq 4.0$   $h \leq 100$  km)



第3図 平成6年北海道東方沖地震の余震活動 (1994年1月~1997年7月  $M \geq 4.0$   $h \leq 100$  km) : ①震央分布図 ②時空間分布図(枠内のみ) ③M-T図(枠内のみ)

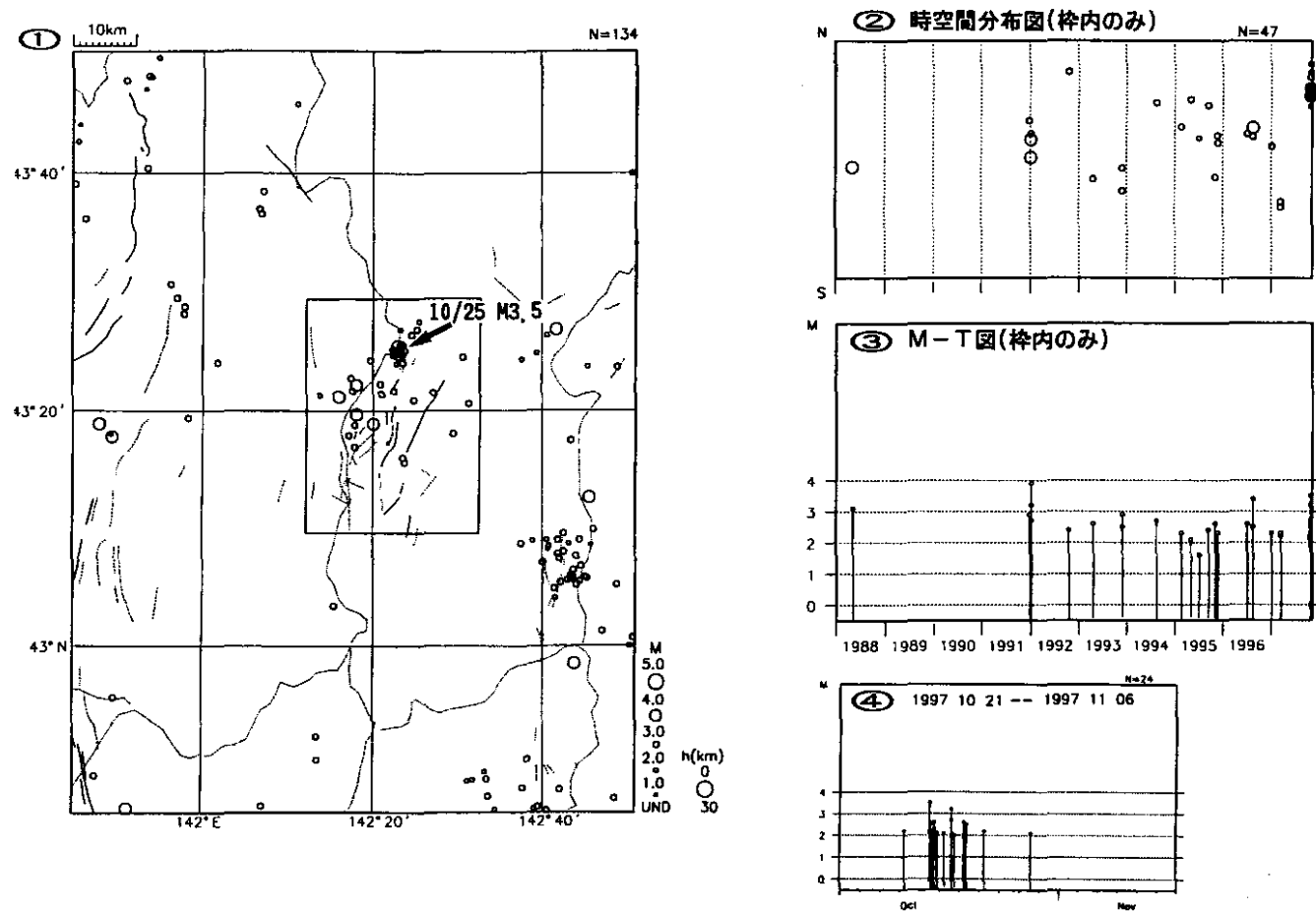
Fig.3 Aftershock activity of the Hokkaido-Toho-Oki Earthquake, 1994 (January, 1994-July, 1997  $M \geq 4.0$   $h \leq 100$  km) : ①epicentral distribution, ②space-time plots(within the frame), ③magnitude-time diagram (within the frame).



第4図 北海道南西沖の地震活動 (1993年1月~1997年11月6日  $M \geq 3.5$   $h \leq 60\text{km}$ ) : ①震央分布図 ②時空間分布図 ③M-T図

Fig.4 Seismic activity in southwest off Hokkaido (January, 1993-November 6, 1997  $M \geq 3.5$   $h \leq 60\text{km}$ ) : ①epicentral distribution, ②space-time plots, ③magnitude-time diagram.

上川支庁南部(富良野付近)の地震活動  
(1988年1月~1997年11月6日  $h \leq 30$  km)



第5図 上川支庁南部(富良野付近)の地震活動(1988年1月~1997年11月6日  $h \leq 30$  km) : ①震央分布図 ②時空間分布図(枠内のみ) ③M-T図(枠内のみ) ④M-T図(枠内のみ, 1997年10月21日~11月6日)

Fig.5 Seismic activity in the southern Kamikawa region (near Furano) (January, 1988-November 6, 1997  $h \leq 30$  km) : ①epicentral distribution, ②space-time plots(within the frame), ③magnitude-time diagram (within the frame), ④magnitude-time diagram(within the frame from October 21 to November 6, 1997).